

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス たんぼぼ			
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気の中で、居心地が良く安心できる環境を作り、お子さま一人ひとりのコミュニケーションを大切に、様々な経験を積み重ねルール、マナー等の社会性を身につけることに重点をおいている。	職員と1対1の関わりから始め、お友だちに興味や関心をもって相互的な会話や遊びが出来るよう介入している。 失敗しても「大丈夫だよ」「次やってみよう」などと伝え、モチベーションを高めることで失敗や成功を繰り返しながらやり遂げる力や自信を育てていく。	一人ひとりとの関わりを大切に、より興味をもって主体的に活動ができるようなプログラムを精査していき、職員間で共有していく。
2	清潔で心地よく過ごせる環境である。	おもちゃや荷物を入れるカゴ、ドアノブ、テーブルなど、人が触るものの消毒を毎日行っている。 室内の空気をこまめに入れ替え、換気することで、感染症の影響を最小限に抑えられるように気をつけている。	定期的な清掃用具の交換、見直しを行う。 消毒・換気等は引き続き継続し感染予防にも気を付けていく。
3	保護者様との良好な関係構築に力を入れる。	なるべく保護者様と対面でお話し、日中のお子さまの様子についてお伝えする中で、顔の見える関係性と信頼関係を大切にしている。	保護者様に安心していただけるよう、直接お話しすることが難しい場合、電話や連絡帳などの連絡手段を活用する。 より丁寧に分かりやすくお子さまの様子をお伝えして、信頼関係をつくっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での非常災害が発生した場合の対応。	保護者様向けに情報発信を行っているが、お子さまの来所日が違うため、日々の活動をより分かりやすくできるよう周知していく。	Instagram・LINEなどのSNSや、1～2カ月に1度お配りしているお便りを活用し、保護者様への情報提供を行っていく。 一日だけの限定的な避難訓練ではなく、週に複数回の訓練を計画していく。
2	保護者様同士のつながりが不十分である。	イベントや研修会などは行っているが、土日祝日等ご家庭で過ごされることが多く、中々集まっていただきにくい。	余裕をもって周知や説明を行い、保護者様の理解を深め参加を促すよう働きかけていく。
3	情報発信について、事業所での取り組みや活動内容、避難訓練の有無等の情報が保護者様に伝わっていない。	保護者様向けに情報発信を行っているが、お子さまの来所日が違うため、全員が避難訓練を経験できていない。	Instagram・LINEなどのSNSや、1～2カ月に1度お配りしているお便りなど、複数の発信方法を活用し、保護者様への周知を行っていく。 避難訓練を実施した時に保護者様に内容等を丁寧に伝えていく。